

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 地域道路室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	地域道路室長 中村 誠 (課長補佐兼県道係長 松田 智)	内線	4362 (4376)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	4.0 億円
		道路改築事業 一般県道 絹山市島線	丹波市市島町酒梨 ～ 東勅使	内用地補償費	1.2 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
丹波市市島町酒梨～東勅使				H21	H23
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本路線の市島町側は、与戸、勅使等の集落と国道 175 号を結ぶ唯一の県道であり、沿道に民家等が密集する本事業工区を除いて、既に整備を終えている。</li> <li>・ 市島町側で唯一未整備である本バイパス区間の現道は、幅員狭小であり、歩道も未整備であることから離合困難な状況である。</li> <li>・ そのため本事業により、日常生活の利便性向上と円滑な交通を確保し安全で安心して利用できる道路整備を行う。</li> </ul>			道路改築事業(バイパス)L= 880m 【構造規格】3種3級(平地部) 【計画幅員】W= 6.0(10.0)m(2車線+片側歩道) 【計画交通量】1,800台/日(H42) 【現況交通量】2,394台/日(H17交通センサス) 【負担割合】: 県 10/10(合併支援道路整備事業)		
評価視点		評価結果の説明			
(1) 必要性 安全・安心を確保する道づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現道から通過交通を排除し小学校通学路である現道の安全性向上を図る。</li> <li>・ 踏切拡幅により、踏切通過交通及び鉄道の安全性向上を図る。</li> <li>・ 避難所である三輪小学校と国道 175 号のアクセス強化により、緊急時における物資輸送等の救援活動を支援する。</li> </ul>			
くらしと交流を支える道づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線集落と国道 175 号とのアクセス強化により新市の一体感醸成を図る、丹波市の合併支援道路である。</li> </ul>			
(2) 有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用便益比 <math>B / C = 1.1</math></li> <li>・ 地区内の通過交通と生活車輛を分離することで、走行時間短縮とともに安全性と利便性が向上し有効性が高い。</li> </ul>			
代替性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿道に人家等が密集する現道の拡幅は地域への影響が大きく、バイパス計画は経済性・施工性にも優れた最適案である。</li> </ul>			
効率性 (事業執行環境)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美和地区自治振興会で構成する県道絹山市島線改修促進協議会が組織化され、早期完成への強い要望があるとともに、用地買収への協力体制が整っている。また、踏切拡幅工事に伴う JR 西日本との協議調整やバイパス整備に伴う丹波市との計画調整を終えており、市もこの整備を強力に促進している。</li> </ul>			
(3) 環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現道からバイパスへの交通転換により、沿道騒音の低減など、地域の環境改善に寄与できる。</li> <li>・ 景観に配慮した防護柵を設置する。</li> <li>・ 歩道部の透水性舗装を施工する。</li> </ul>			
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併後の新たなまちづくりを支援するとともに、地域交通の安全性・円滑性を確保するため早期事業着手が必要である。</li> </ul>			

新規事業  
当初計画

(一) 絹山市島線 事業スケジュール

工種	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
設計・調査	■								
用地補償		■	■						
踏切改良					■	■			
道路改良			■	■	■	■	■	■	■

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: [交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位]

費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)			C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)	代表的な効果		総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
道路	一般県道 絹山市島線	走行時間短縮便益	418	時間短縮: 0.7分 (2.0分 1.3分)	413	372	41	1.1
		走行経費減少便益	45	供用時バスの交通量				
		交通事故減少便益	0	1,900台/日				
		計	463					

# (一) 絹山市島線 位置図

## 凡例

12h [24h] 交通量  
(H17センサス)

通行不能区間

(一) 絹山市島線 (H21 ~ H23)  
L=880m W=6.0(10.0)m  
全体 約4億円

1,931 [2,394] 台/日

丹波市

丹波市役所

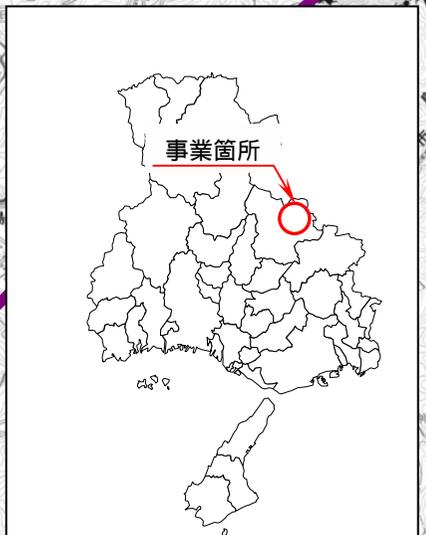
丹波市役所  
春日庁舎

国道175号

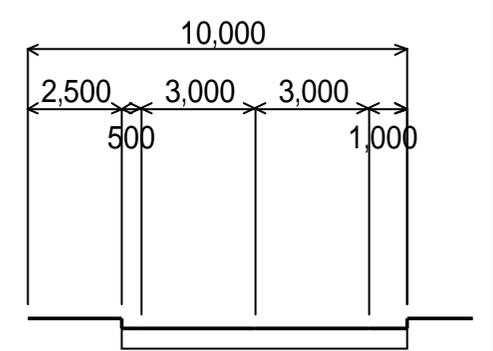
北近畿豊岡自動車道

氷上IC

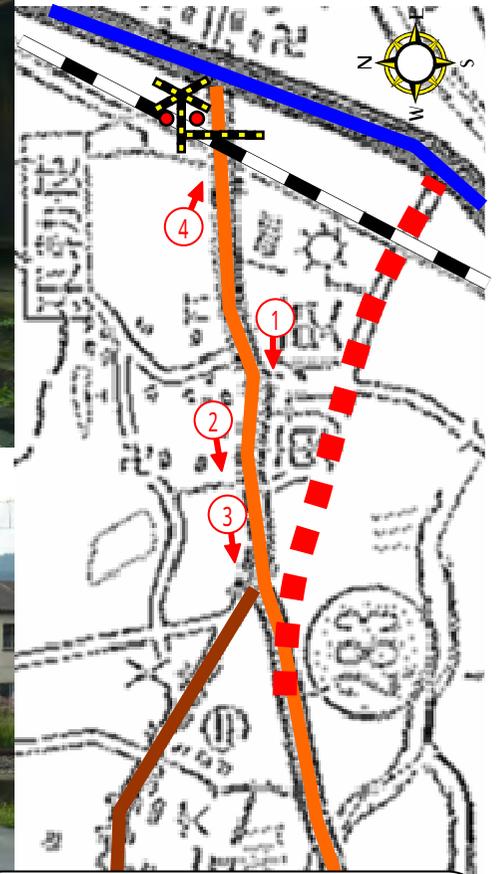
青白JCT



## 標準横断面図



# 現道状況



過去3年に4件の死傷事故が発生。死傷事故率は、152.6件/億台・kmと県平均約100件/億台・kmを大きく超えている

# 丹波市と協力した道路等の整備

市道 酒梨岸の下線  
L=67.2m 5.5(7.0)m

市道 勅使丁田線  
L=250m 4.0(5.0)m

山下口踏切(人道踏切)  
【廃止】

美和踏切  
【C規制(大型車進入禁止)】

勅使踏切  
【拡幅】

福知山街道踏切  
【交差角改良】

整備区間

凡例

- 丹波市施工
- 県施工

道路整備に伴う踏切改良に先立ち、JRより、周辺踏切3箇所について、廃止・交差角改良・大型車規制の条件が付けられた。

**丹波市がJR条件の3箇所の踏切を施工！**  
**また隣接する市道の道路改良も施工！**  
**県と市が協力して本バイパスの早期完成を目指す。**



# 道路計画線 (写真)

